

月1万tのPETボトル資源化

機械化推進、作業環境向上

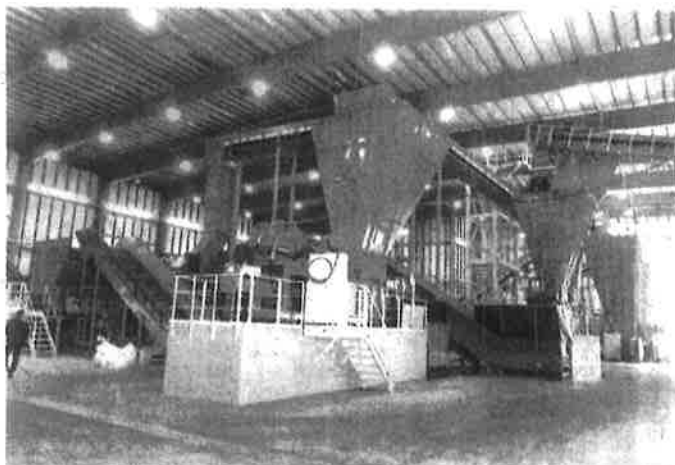
国内最大の異物除去・洗浄・圧縮

ガラスリソーシング(本
社・千葉県銚子市、伊藤憲
一会長、☎0479・24
・6651)はこの度、同
社の「成田工場」(千葉県成
田市)に廃PETボトルの
異物除去と洗浄、圧縮を一
貫で行う専用の新施設を竣
工、本格稼働を開始した。

処理量は月間1万tで、国
内最大規模の廃PETボト
ル資源化施設になる。伊藤
会長は、「事業系PETボ
トルを「ボトル to ボトル」
など高度なPETボトルの
リサイクルを広げるために
は、徹底した異物除去と洗
浄が不可欠だ。その工程を
機械化、省人化し、効率化
とともに作業環境向上を図
った」と述べている。(関
連記事2面)

ガラスリソーシング

今回新たに稼働を開
始したのは成田工場の
「C棟」になる。PE
Tボトルやスチール
缶、アルミ缶、ガラス
り、B棟で選別された



新設したPETボトルの異物除去・洗浄・圧縮施設

びんなどの混合飲料容
器を自動選別する「B
棟」に隣接した専用建
屋におさめられてお
屈指の設備だ。

従来、人手で行われ
ることが一般的だった
異物除去や汚れたPET
ボトル選別の工程ま
で機械化・自動化する
とともに、ボトル to
ボトルなどを行うリ
サイクル企業の要望に
沿って、歩留まりを上
げるため、粉砕物(フ
レーク)ではなく、あえ
て異物やラベル、キャ
ップがない圧縮物(ペ
ール)に加工する設備
にしていることが大き
な特徴だ。省人化を
図ったが、従来の従業員
は装置の運転とメンテ
ナンス、場内の清掃な
どに力を入れる。
処理のフローはま
ず、ラベルを剥がしや



ラベルがないきれいなペールをつくる

すくするための圧縮に
かけた後、解砕、磁選
機、アルミ選別機、ラ
ベル剥離機、スクリー
ン(ラベル除去)、ボト
ル洗浄(3段階)、光学
選別機までが3ライン
あり、最後に圧縮機(4
基)で高密度のペール
に圧縮する。処理能力
は1時間当たり15t。
洗浄や圧縮に独自のノ
ウハウを取り入れた。
現在、洗浄廃水を処
理するための排水処理
設備と排水処理汚泥を
再資源化するバイオ発
電設備の建設も急ピツ
チで進めている。